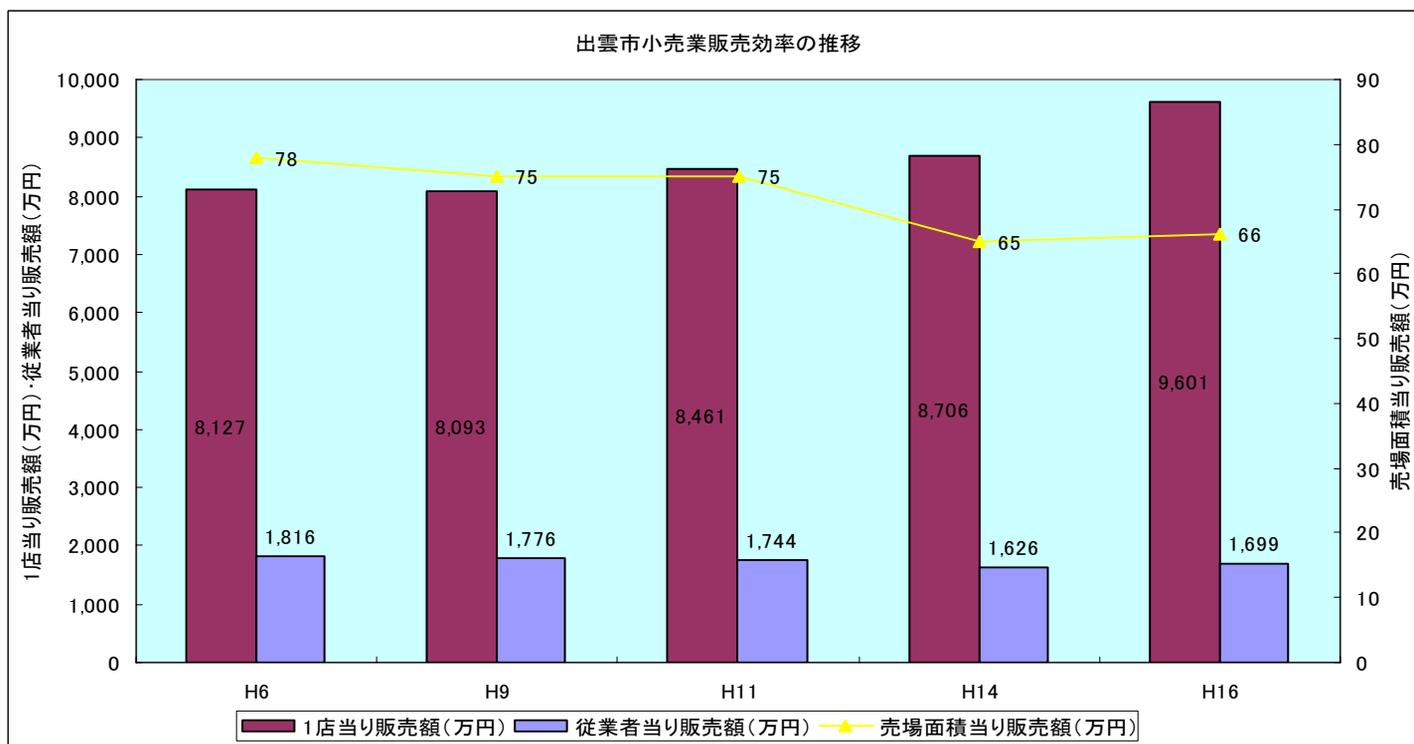
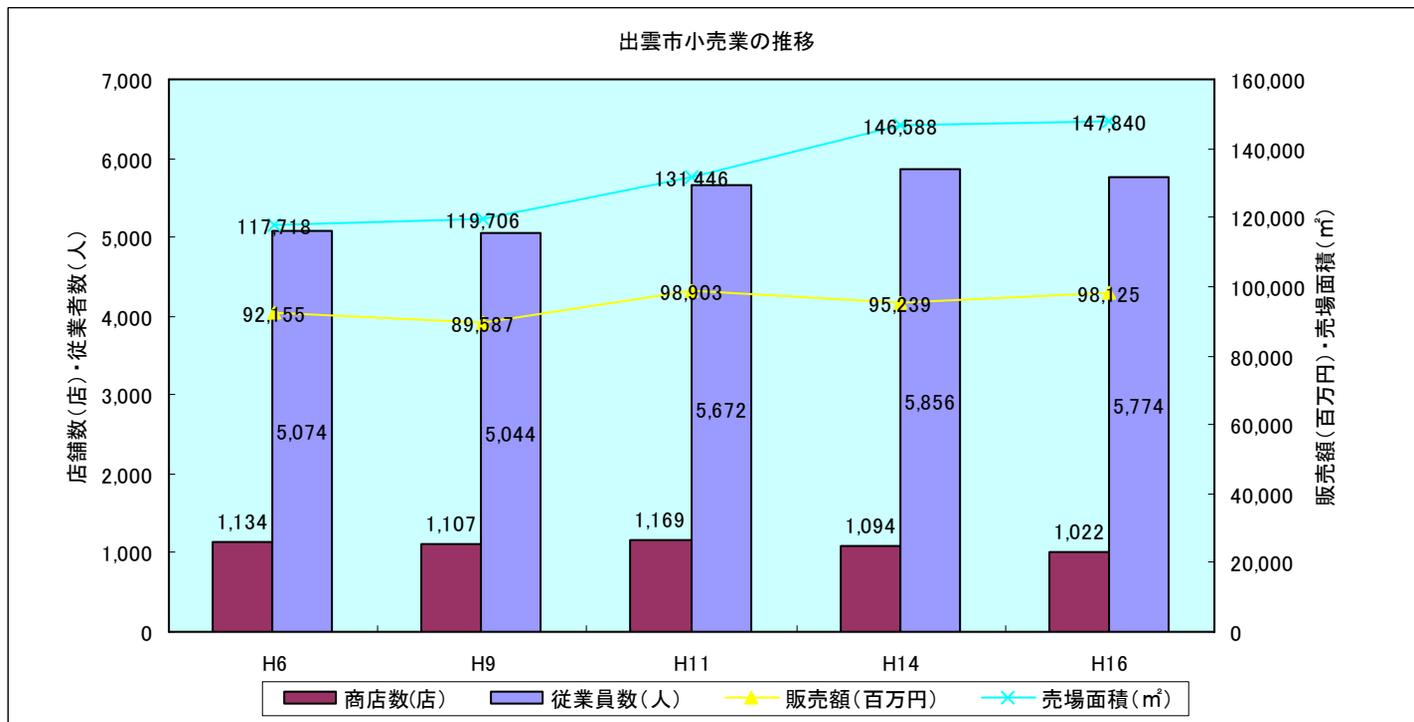


平成16年商業統計結果（小売業）

調査の期日

平成16年6月1日。なお、年間商品販売額は、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの1年間の販売額。商業統計調査は、平成9年以降の調査から5年ごとに実施し、その中間年（調査の2年後）に簡易な調査を実施することとなっている。今回は第2回目の簡易調査であり、全国すべての事業所・企業を対象とした総務省所管の事業所・企業統計調査及びサービス基本調査との同時調査（調査表は両調査共通の平易な様式）により実施され、事業所の産業の決定（格付け）方法が異なるため数値を時系列で使用する際には注意を要する。

出雲市小売業の推移（自動車・燃料除く）



ポイント（自動車・燃料を除く）

- ・今回の調査では商店数と従業員数が減少した。長期的に減少傾向にある商店数は今回 72 店 6.6%減少し、前回微増傾向にあった従業者数は 82 人 1.4%微減した。前回減少した年間販売額は 3.0%増減し、これまで一貫して増加を続けている売場面積は 0.9%の微増に留まった。
- ・年間販売額は微増したものの、小売吸引率は前回の 1.41 から 1.47 へ、また年間販売額の県内シェアは 16.0%から 17.1%に上昇したことから、減少した県内において出雲市の商業拠点性はわずかながら高まった。
- ・年間販売額が微増し、商店数と従業者数が減少したため、1店あたり、従業者あたりの販売効率は上昇した。また、売場面積が微増であったため売場面積あたりの販売効率はわずかに上昇した。
- ・1店当り、面積当りの販売額は松江市には及ばないが、従業者当りの販売額は県下で最も高い。
- ・人口 100 人当りの売場面積も調査毎に増加し、平成 16 年は 169 m²で県内で最も高い。これは広域圏から集客している状況を反映していると言える。

出雲市小売業の推移

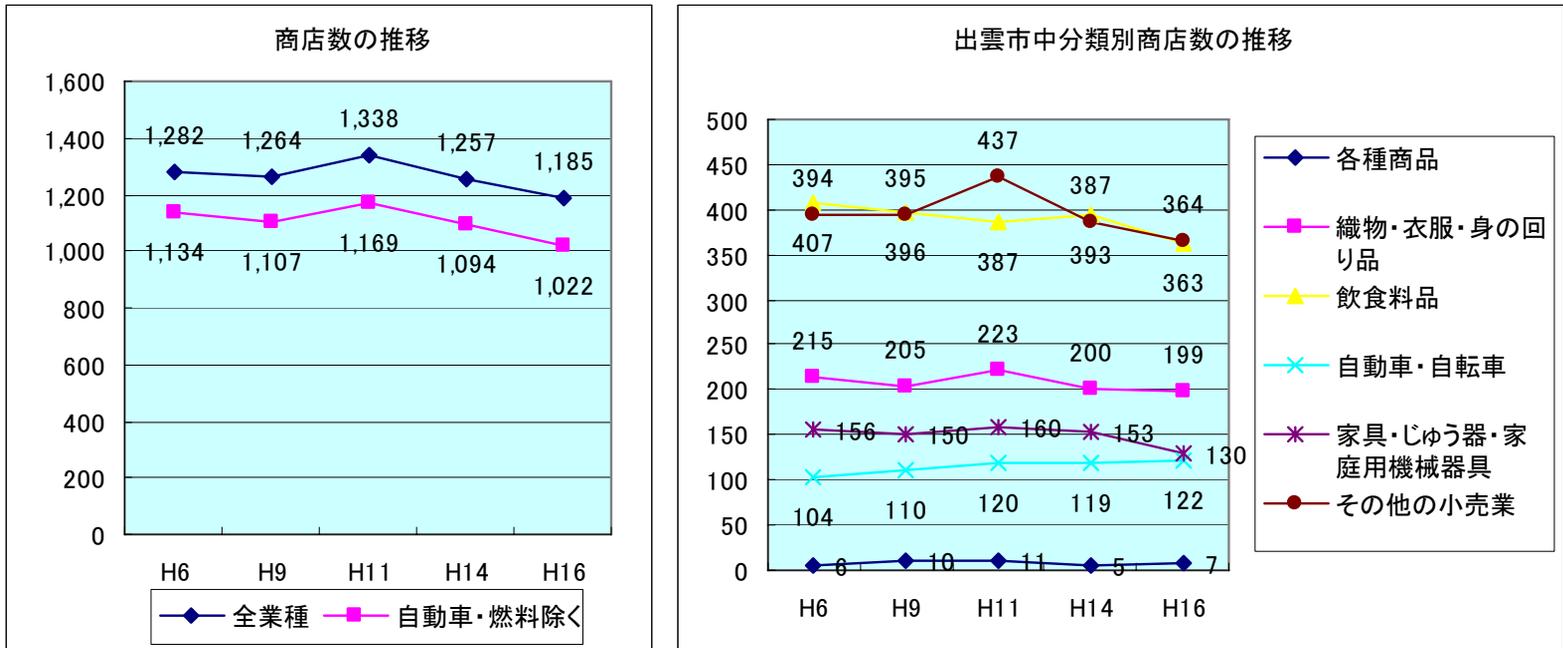
		平成 6 年	平成 9 年	平成 11 年	平成 14 年	平成 16 年
全体	店舗数	1,282 店	1,264 店	1,338 店	1,257 店	1,185 店
	(対前回増減率)	▲7.2%	▲1.4%	5.9%	▲6.1%	▲5.7%
	(県対前回増減率)	▲8.2%	▲5.7%	2.2%	▲7.7%	▲7.2%
	従業者数	6,197 人	6,227 人	6,910 人	7,135 人	7,007 人
	(対前回増減率)	1.0%	0.5%	11.0%	3.3%	▲1.8%
	(県対前回増減率)	1.5%	▲2.4%	7.0%	0.4%	▲5.7%
	年間販売額	1,215 億 5,070 万円	1,251 億 7,536 万円	1,337 億 1,748 万円	1,331 億 3,079 万円	1,339 億 2,073 万円
	(対前回増減率)	4.0%	3.0%	6.8%	▲0.4%	0.6%
	(県対前回増減率)	3.1%	5.1%	1.4%	▲4.1%	▲2.8%
	売場面積	122,302 m ²	122,269 m ²	134,610 m ²	149,582 m ²	151,432 m ²
	(対前回増減率)	13.7%	▲0.0%	10.1%	11.1%	1.2%
	(県対前回増減率)	25.6%	▲4.5%	6.1%	3.1%	▲1.4%
自動車・燃料除く	商店数	1,134 店	1,107 店	1,169 店	1,094 店	1,022 店
	(対前回増減率)	▲8.9%	▲2.4%	5.6%	▲6.4%	▲6.6%
	(県対前回増減率)	▲9.6%	▲6.5%	2.0%	▲8.3%	▲7.6%
	従業者数	5,074 人	5,044 人	5,672 人	5,856 人	5,774 人
	(対前回増減率)	▲0.6%	▲0.6%	12.5%	3.2%	▲1.4%
	(県対前回増減率)	0.8%	▲2.5%	6.6%	1.1%	▲6.1%
	年間販売額	921 億 5,470 万円	895 億 8,706 万円	989 億 335 万円	952 億 3,898 万円	981 億 2,469 万円
	(対前回増減率)	4.2%	▲2.8%	10.4%	▲3.7%	3.0%
	(県対前回増減率)	3.6%	3.2%	3.2%	▲6.1%	▲3.4%
	売場面積	117,718 m ²	119,706 m ²	131,446 m ²	146,588 m ²	147,840 m ²
	(対前回増減率)	10.2%	1.7%	9.8%	11.5%	0.9%
	(県対前回増減率)	23.0%	▲4.7%	6.4%	3.6%	▲1.1%
	1店当り販売額	8,127 万円	8,093 万円	8,461 万円	8,706 万円	9,601 万円
	(同 県実数)	5,515 万円	6,087 万円	6,160 万円	6,309 万円	6,591 万円
	従業者当り販売額	1,816 万円	1,776 万円	1,744 万円	1,626 万円	1,699 万円
	(同 県実数)	1,472 万円	1,558 万円	1,508 万円	1,402 万円	1,443 万円
	1 m ² 当り販売額	78 万円	75 万円	75 万円	65 万円	66 万円
	(同 県実数)	66 万円	71 万円	69 万円	62 万円	61 万円
	1店当りの売場面積	104 m ²	108 m ²	112 m ²	134 m ²	145 m ²
	(同 県実数)	84 m ²	86 m ²	89 m ²	101 m ²	108 m ²
人口 100 人当り売場面積	139 m ²	140 m ²	153 m ²	171 m ²	169 m ²	
(同 県実数)	116 m ²	112 m ²	119 m ²	124 m ²	125 m ²	
小売吸引率	1.43	1.32	1.40	1.41	1.47	
販売額県内シェア	15.5%	14.6%	15.7%	16.0%	17.1%	

※平成 11 年調査においては調査対象事業所の捕捉あり

出雲市の状況

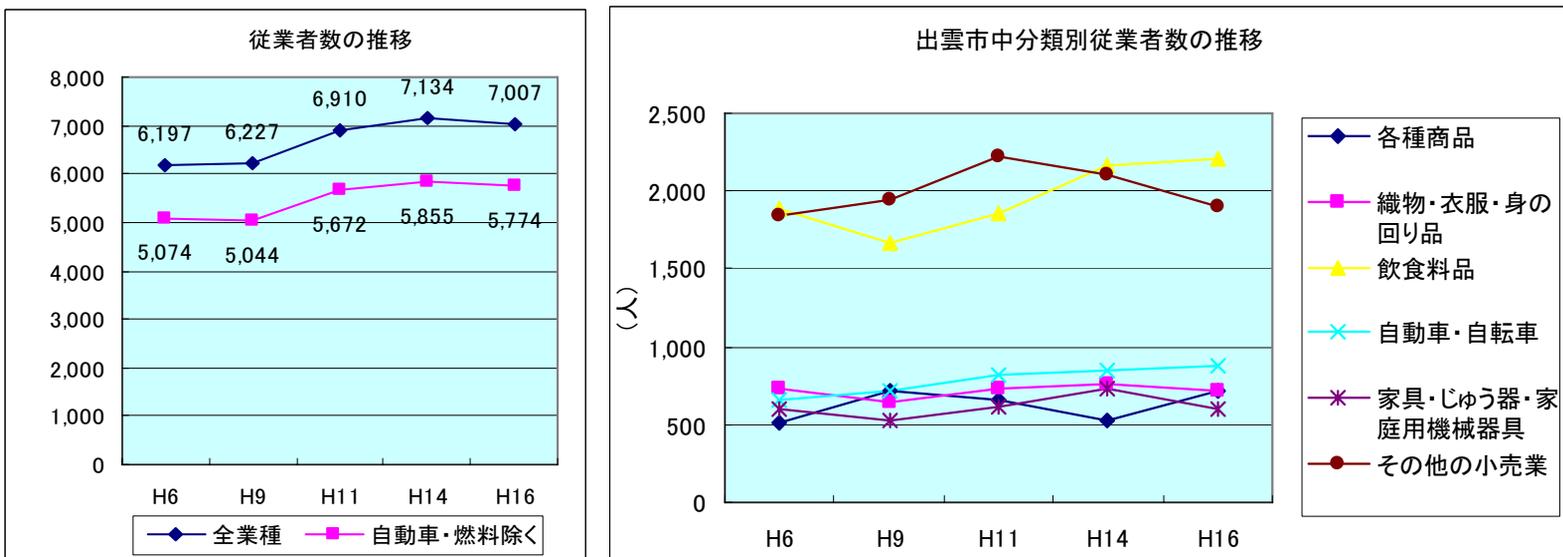
(1) 商店数

商店数（自動車・燃料を除く）は、減少が続いている。中分類業種別では、今回唯一増加したのは「自動車・自転車」の3店で、それ以外は、すべて減少している。前回唯一増加した「飲食料品」は今回30店の減少があった。



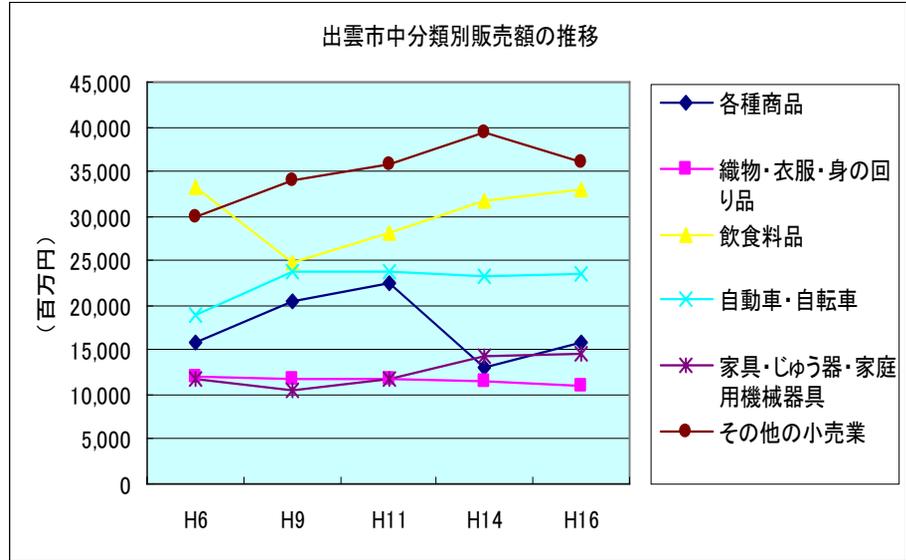
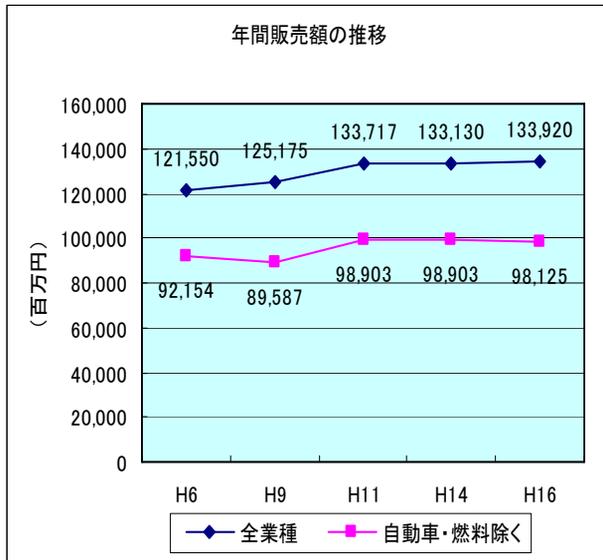
(2) 従業者数

従業者数（自動車・燃料を除く）は、これまで増加傾向にあったが今回は減少した。中分類業種別では、「各種商品」で194人、「飲食料品」で40人、「自動車・自転車」で29人増加した反面、「織物・衣服・身の回り品」で44人、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」で138人、「その他の小売業」で209人減少し、業種により極端な変動となった。



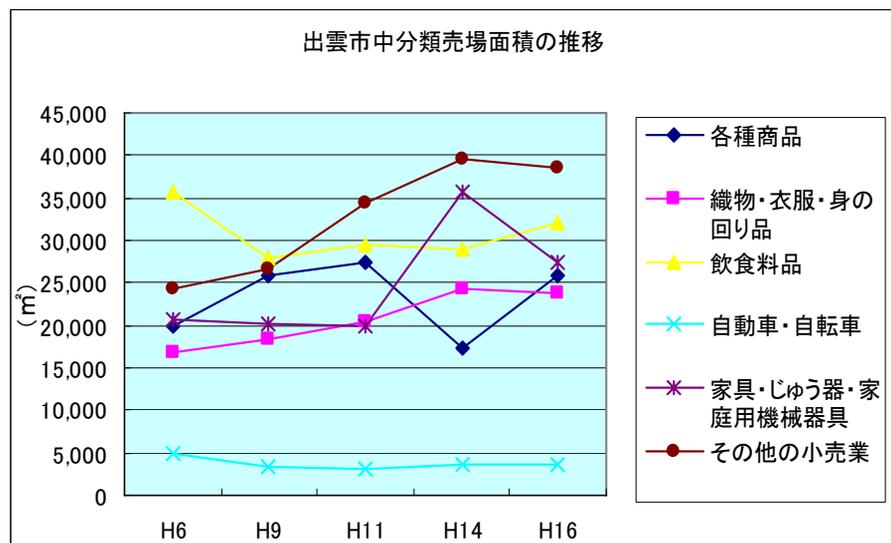
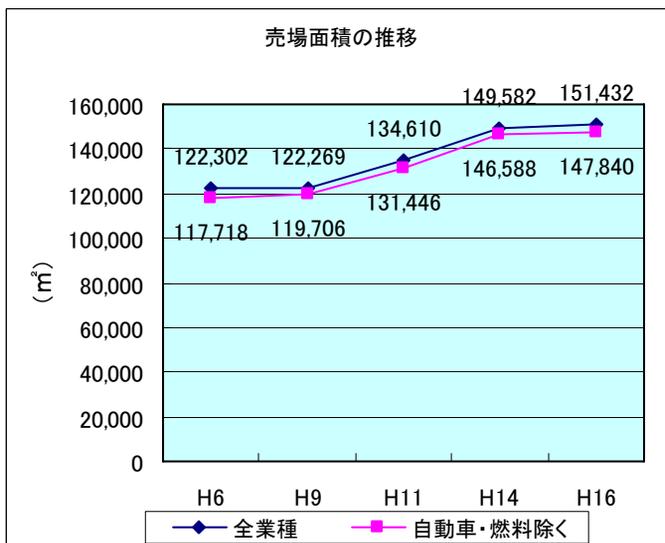
(3) 年間販売額

年間販売額（自動車・燃料を除く）は0.8%の微減に止まった。中分類業種別では「各種商品」が26億円、「飲食料品」が12億円、「自動車・自転車」が33億円増加したものの「家具・じゅう器・家庭用機械器具」で12億円、「織物・衣服・身の回り品」で55億円「その他の小売業」が32億円減少したことが全体を押し下げた。

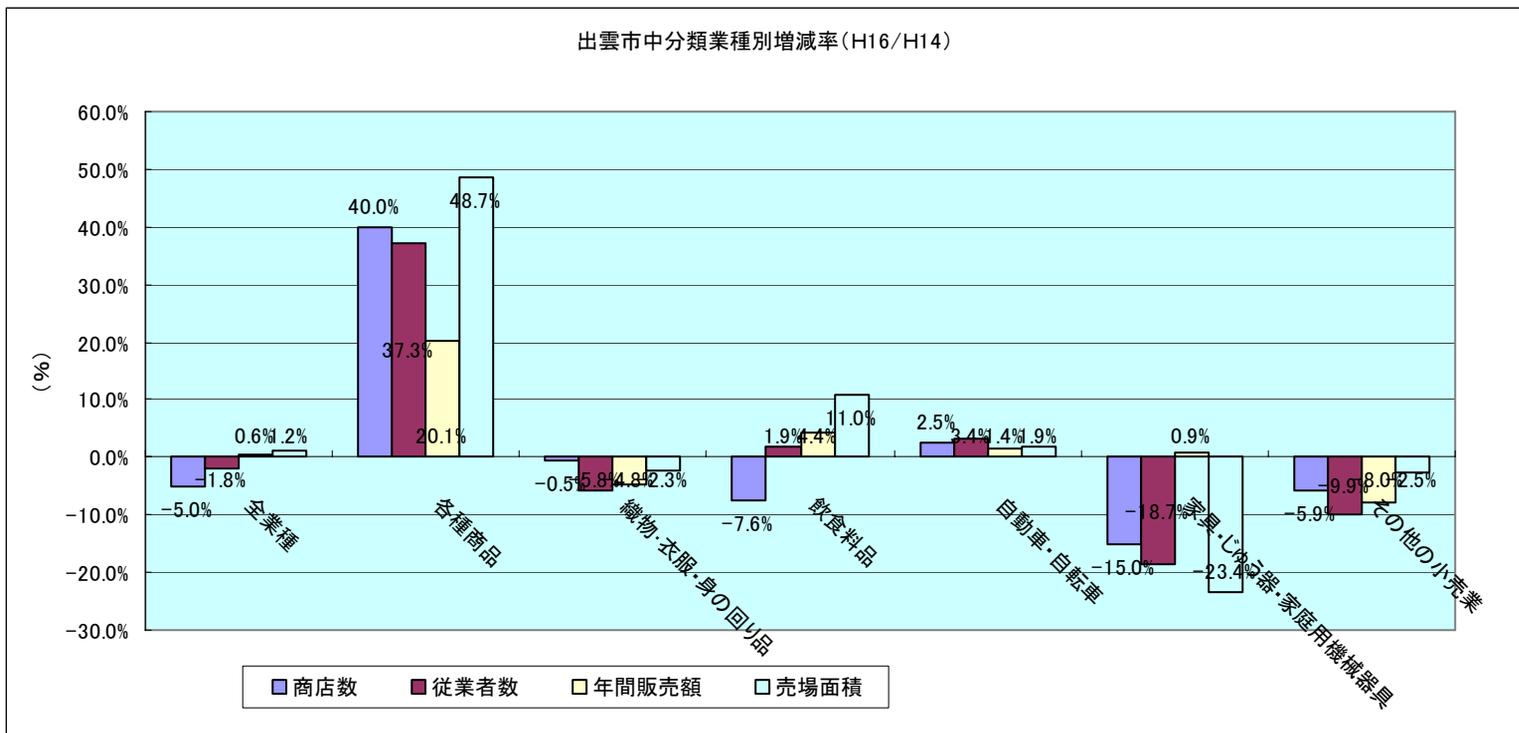


(4) 売場面積

売場面積（自動車・燃料を除く）は過去一貫して増加している。「各種商品小売業」が8,475㎡、「飲食料品」が3,175㎡増加した反面、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」が8,346㎡減少した。



中分類業種別の4項目の増減率を見ると、「各種商品」が唯一4項目とも増加した。「織物・衣服・身の回り品」、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」、「その他の小売業」では4項目とも減少している。

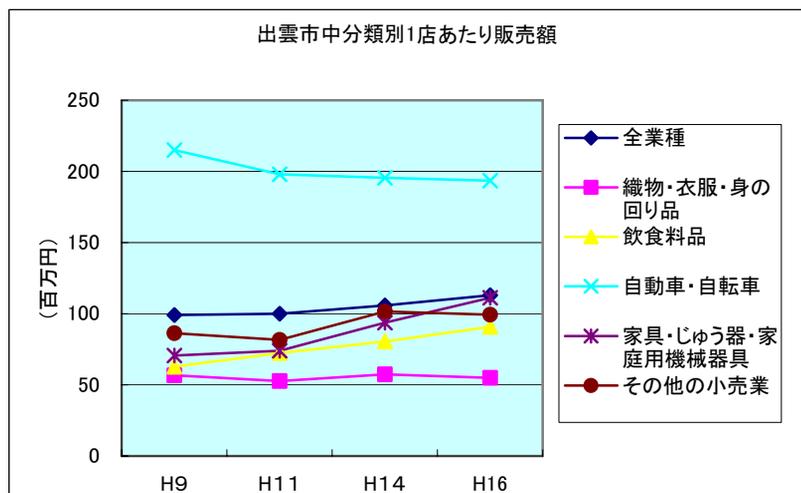
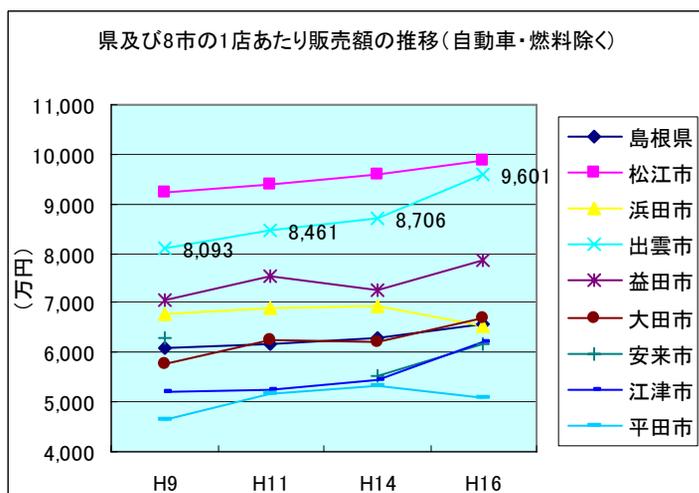


(5) 販売効率

① 1店当りの年間販売額

出雲市の1店当りの販売額(自動車・燃料除く)は、県平均の4.5%(283万円)を若干上回る10.3%(895万円)増加し、9,601万円で、9,890万円の松江市に次いでいる。

出雲市の業種別1店当たり販売額では、店舗規模の大きい「各種商品」が14.2.0%(3億374万円)減少したが、22億55百万円で突出している(グラフには記載していない)。「飲食料品」が10.5%、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」が17.5%増加し、「自動車・自転車」が2.1%、「織物・衣服・身の回り品」が2.5%減少した。

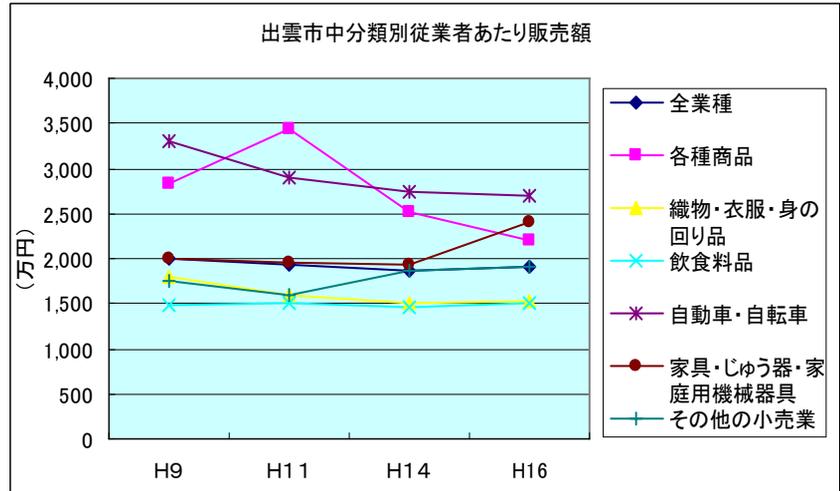
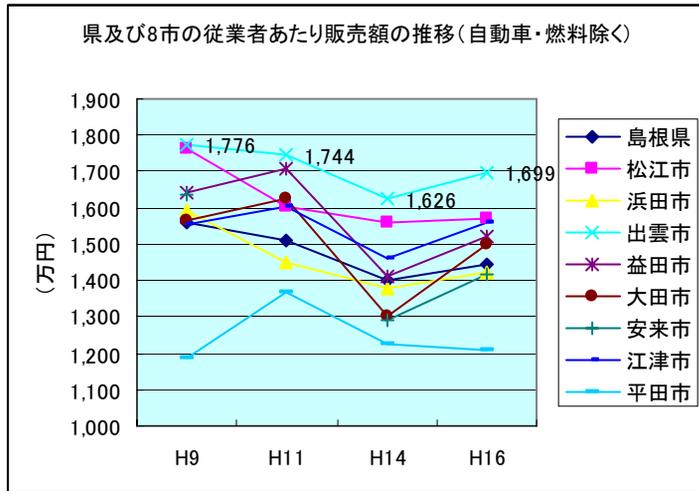


※各種商品は平成14年2,629百万円、平成16年2,255百万円

②従業員当りの年間販売額

従業員当たりの販売額（自動車・燃料除く）は、県平均が1,443万円で前回に比べ41万円（2.9%）増加した。市部では平田市が唯一18万円（1.5%）減少したが、その他の市はすべて増加した。出雲市は1,699万円で73万円（4.5%）増加した。実数では、市部で最も高くなっている。

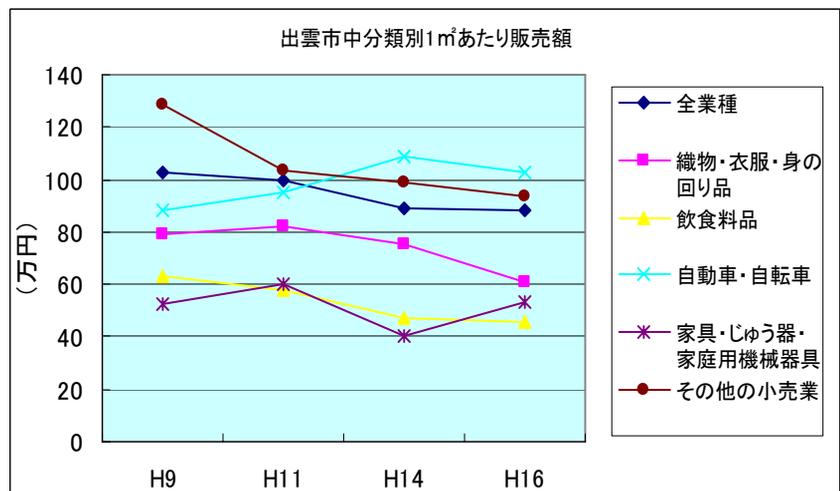
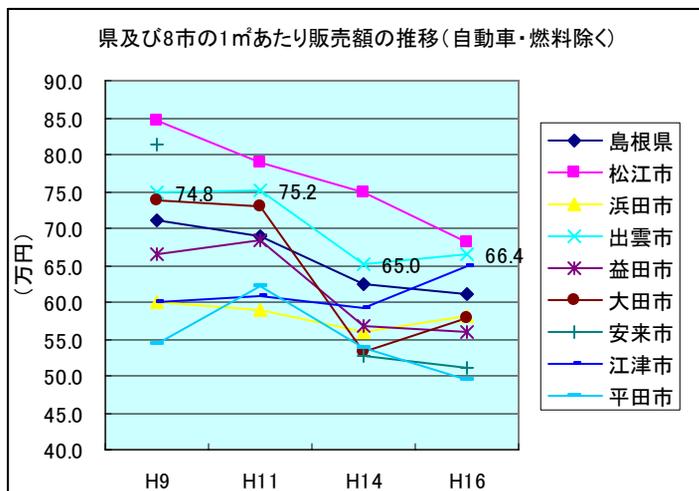
出雲市の業種別従業員当たり販売額では、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」が468万円の増加を示した。「自動車・自転車」の2,690万円が最も高いが53万円（1.9%）の減少となった。「各種商品」も317万円（12.5%）減少した。



※自動車・自転車 H14 2,743万円 H16 2,690万円

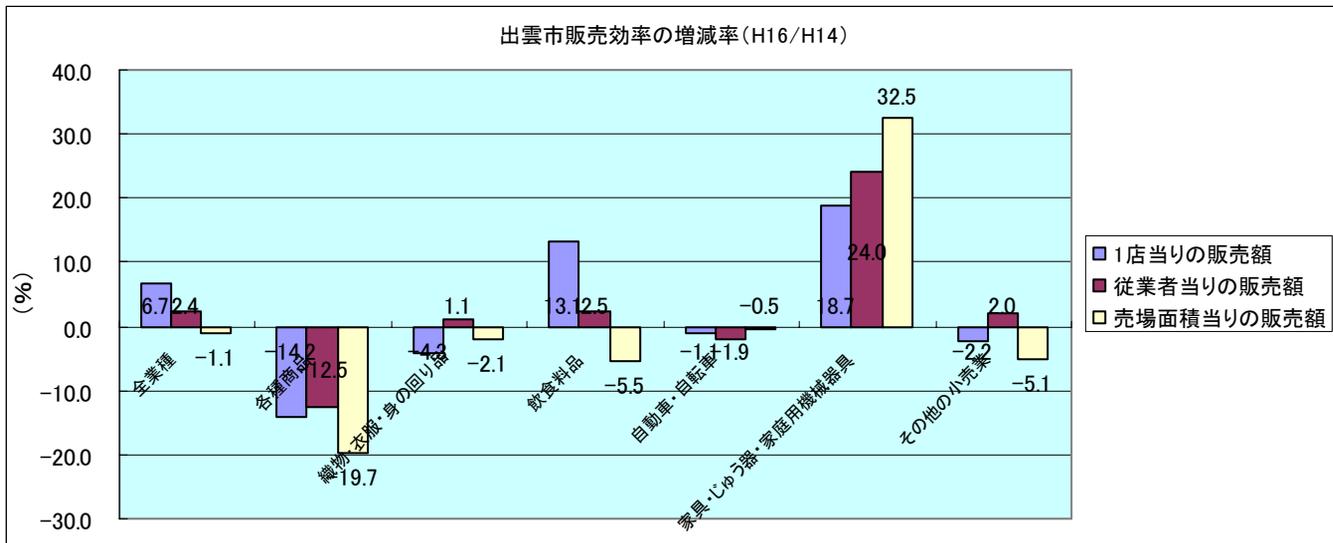
③売場面積当りの年間販売額

1㎡当りの販売額（自動車・燃料除く）は、県平均が2.2%減少し61万円となっている。出雲市は2.2%、1.4万円の微増の66万円となっている。一方、松江市は9.0%の減少により、68万円となっている。出雲市の業種別1㎡当りの販売額では、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」が唯一13万円増加し53万円となった。他の業種は「織物・衣服・身の回り品」が19.2%、「飲食料品」が2.5%、「その他」が5.7%減少した。



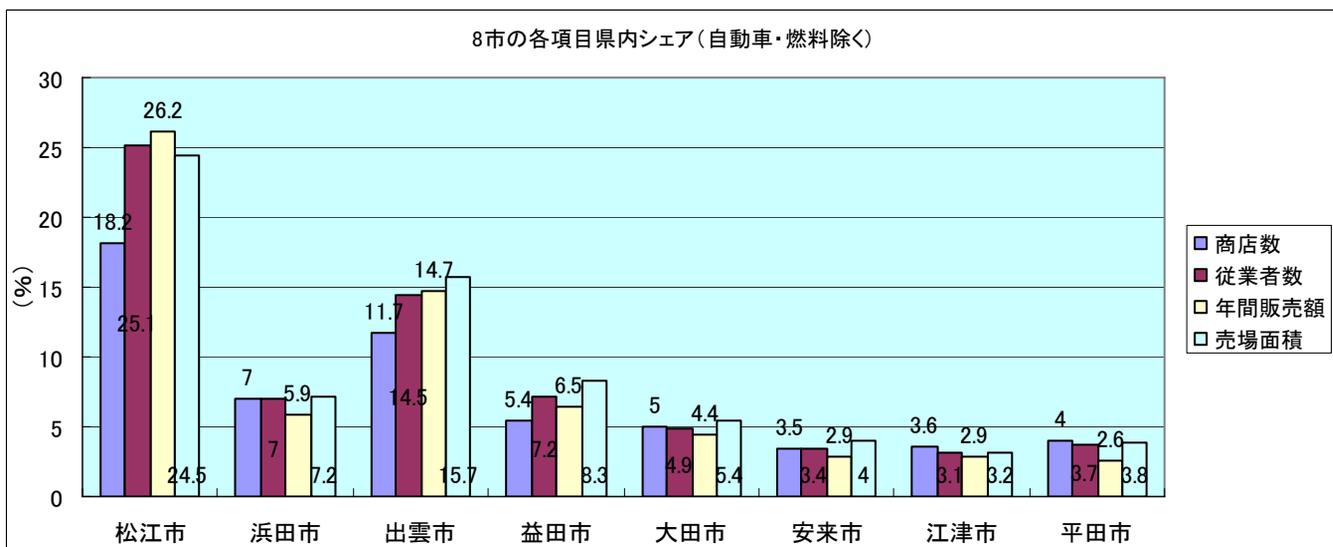
※自動車・自転車の1㎡当り販売額・・・平成14年646万円
平成16年643万円

販売効率は、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」がすべての項目で改善しているが「自動車・自転車」、「各種商品」ではすべての項目で悪化している。



県下8市の状況

自動車・燃料を除く8市の県内シェアを見ると、年間販売額は松江市が26.2%、出雲市が14.7%、益田市が6.5%などとなっている。松江市と出雲市は前回調査に比べ、それぞれ0.7、0.3ポイント下降した。松江市と出雲市では、年間販売額のシェアが高いので、1店当たり、従業者当たり、面積当たりのいずれの販売効率も県平均を上回っていることがわかる。



出雲市の小売吸引率は、前回の1.41から1.47に上昇し、数値が計算できる市町村のなかでは最高である。県内では松江市が1.38で続いている。平田市、安来市は1.0を下回り、流出超過となっている。

